

東京に住んでいると、「武蔵野」という言葉を実感することはほとんどないでしょう。しかし、東京の近郊には、まだその語感を実感できる場所が残っています。都心から約二十五キロ離れた東久留米市を流れる落合川は、湧水が豊富に湧き出した美しい川です。落合川の水は、東京の川とは思えないほど澄み渡っています。東京のほとんどの河川は、護岸工事によって自然の姿を失ってしまっていますが、落合川には、まだ自然のままに残された部分があります。川の両岸には多くの植物が生い茂り、魚たちや鳥、昆虫などが生活しています。鴨や鷺の姿も見ることができます。都会を流れる単なる水路ではなく、自然のなかで生き生きと生き続けている川が、こんなに近くにあることには、驚きを感じます。



落合川(東京都)

落合川の川岸は、静かな遊歩道になっています。周囲は住宅街になっている部分も多いですが、生活と川が自然に柔らかに調和しているように感じます。川岸には神社があり、昔から川を敬い、大切にしてきたことがうかがえます。

落合川は、観光地のような景勝地でもなければ、大自然というほどの雄大さありません。しかし、池袋から二十分という距離で、普通の自然を普通に感じられるということに、幸せを感じてしまいます。自然遺産といった場所が保護されることも重要ですが、日常のなかの普通の自然が守られることも、とても価値のあることだと思います。

川を 歩く

日常のなかの



自然